

平成12年緑化推進運動功労者内閣総理大臣表彰受賞者名簿  
(五十音順)

〔 個 人 〕

おおつか のぶや  
大塚 信也 (茨城県行方郡潮来町)  
かなさし よしのり  
金指 勝悟 (静岡県天竜市)

〔 団 体 〕

いずみさのみどり しょうねんだん  
泉佐野 緑の少年団 (大阪府泉佐野市)  
ちようせいかつがっこうれんらくかい  
かつらぎ町生活学校連絡会 (和歌山県伊都郡かつらぎ町)  
かぶしきがいしゃ ろく  
株式会社でん六 (山形県山形市)  
しおじり しりつかたおかしやがっこう しょうねんだん  
塩尻市立片丘小学校みどりの少年団 (長野県塩尻市)  
しんもりちくこうえんあいごかい  
新森地区公園愛護会 (大阪府大阪市)  
すみたちやう ごようしんりんあいごしょうねんだん  
住田町五葉森林愛護少年団 (岩手県気仙郡住田町)  
すみよしちやうはな みどり かい  
住吉町花と緑の会 (新潟県新発田市)  
こうだかぶしきがいしゃ  
ソニー幸田株式会社 (愛知県額田郡幸田町)  
だいきやうかぶしきがいしゃ だいわこうじやう  
大協株式会社 大和工場 (広島県賀茂郡大和町)  
なちやうあらたじちく  
中町安楽田自治区 (兵庫県多可郡中町)  
はなぎちいきじちかいれんごうかい  
華城地域自治会連合会 (山口県防府市)  
みのうちくはな かい  
三納地区花づくり会 (宮崎県西都市)  
やまなかおんせん かい  
山中温泉ぼたん会 (石川県江沼郡山中町)  
わたむきせいさんしんりんくみあい  
綿向生産森林組合 (滋賀県蒲生郡日野町)

〔 学 校 〕

しろとりちやうりつしろとりちやうがっこう  
白鳥町立白鳥中学校 (香川県大川郡白鳥町)  
ふるどのちやうりつおぐたしやうがっこう  
古殿町立大久田小学校 (福島県石川郡古殿町)  
ますだちやうりつますだちやうがっこう  
増田町立増田中学校 (秋田県平鹿郡増田町)

〔 地方公共団体 〕

おおやまだむら  
大山田村 (三重県阿山郡大山田村)  
かのちやう  
鹿野町 (山口県都濃郡鹿野町)  
かわぐちこまち  
河口湖町 (山梨県南都留郡河口湖町)  
くにがみそん  
国頭村 (沖縄県国頭郡国頭村)  
こがし  
古河市 (茨城県古河市)  
なかがわちやう  
那賀川町 (徳島県那賀郡那賀川町)

[個人]

氏 名	<p>おお つか のぶ や 大 塚 信 也</p>
住 所	<p>茨城県行方郡潮来町</p>
功績の概要	<p>同氏は、長年にわたる教職員時代を通じ、在職した各学校において環境美化活動及び緑化推進活動の中心的役割を果たし、緑の愛護を通じての情操教育の向上に努めた。また定年後は、茨城県花とみどりの環境美化コンクール審査員等として活躍するかたわら、公園や道路沿線、河川の堤防周辺等に花を植え、緑化意識の高揚に努めている。</p> <p>特に、昭和36年から現在までの39年間にわたり、町内の街区公園（面積2,040㎡）や町営駐車場において継続的に樹木の剪定・清掃などを行ってきた。</p> <p>また、潮来地区区長OBで構成されている「昭和会」の初代会長を務め、同会が町の中心市街地の道路で推進している「フラワーロードづくり」において中心的な役割を果たしている。さらに、個人あるいは「昭和会」で購入したカンナの球根の町内外の学校への配布や、常陸利根川の堤防においての除草、清掃及びマンジュシャゲの球根植え付けなど数々の活動を通し、地域の環境美化の推進及び緑化意識の高揚に大きく貢献している。</p>

[個人]

氏 名	<small>かな さし よし のり</small> 金 指 勝 悟
住 所	静岡県天竜市
功績の概要	<p>同氏は、林業を取り巻く環境が非常に厳しくなっている今日、優良材の生産を目指して能率良く育林、保育、間伐を推進することにより業として成り立つ林業を実践している。また、施業の内容を詳細に記録し、自らの林業経営に役立てるとともに、地域林業の発展のための貴重な資料として提供している。</p> <p>また、同氏は常に研究熱心で、静岡県の林業の中心的指導者の一人であり、特に天竜スギ・ヒノキ材を対象とした優良材生産技術は県内から高く評価されており、技術指針の作成や林業経営の合理化推進にも尽力し、地域の模範となっている。</p> <p>さらに、同氏は林業後継者の育成に理解と熱意があると認められて昭和58年度より指導林家を勤めており、緑の少年団、小学生を対象とした「森林の役割」についての指導や農林短大の生徒に枝打ちの技術指導を行うなど、林業技術の継承や育林思想の啓蒙普及にも尽力している。</p>

[団 体]

名 称	いずみ さ の みどり しょうねんだん 泉 佐 野 緑 の 少 年 団
所 在 地	大阪府泉佐野市
代 表 者	団 長 中林 順三
功績の概要	<p>同少年団は、緑を愛し、緑を守り・育てる心を養うこと等を目的に平成4年に設立された。設立以来の緑化・植樹活動を始めとする諸活動は、地域の良好な居住環境の維持・増進に寄与しており、地元泉佐野市を始め、周辺地域の住民の緑化活動に多大な影響を与えている。</p> <p>泉佐野市民の憩いの場になっている稲倉池周辺や関西国際空港での植樹等の緑化活動は、泉佐野市民に限らず、国内外の幅広い人々に安らぎを与えている。特に、稲倉池周辺にはヤマザクラ、ハギ、アベリア、キンモクセイ等様々な樹木を3,000本近く植栽しており、四季折々に咲く花々は市民の目を楽しませている。</p> <p>また、泉佐野市の主要駅である南海電鉄泉佐野駅の周辺及び観光拠点の犬鳴山における清掃活動や、地元の製材所の協力による稲倉青少年野外活動センター敷地における山火事防止の看板設置など、身近な環境美化・保全活動にも積極的に取り組んでいる。</p> <p>緑を育て、身近な自然を守り、地域の良好な環境を維持するこれらの活動は、都市部の多い大阪府において緑と自然の大切さを広く伝えている。</p>

[団 体]

名 称	<small>ちょうせいかつがっこう れんらくかい</small> かつらぎ町生活学校連絡会
所 在 地	和歌山県伊都郡かつらぎ町
代 表 者	会 長 草 田 とめの
功績の概要	<p>同会は、昭和51年に町内の生活学校の連携を深め、環境美化及び地域諸問題に取り組み、新しいコミュニティづくりを推進するために設立した団体であり、現在、町内4生活学校、メンバー121人で活動している。</p> <p>昭和60年から町内の緑化美化活動の一環として、毎日の暮らしの中に花を活かそうと「花いっぱい運動」を展開している。町民がよく集う公民館、児童館、文化会館、役場、学校等の公共施設を始め、空き地や路肩等において、古タイヤをプランターとして活用するなど工夫を凝らしながら、四季折々の花を植栽し、人々にひとときの安らぎを覚える場を提供している。</p> <p>このほか、地域に先駆けて空き缶、空き瓶はもとより食用廃油の回収を行い、町のゴミ分別収集の実施、普及に大きく貢献するなど、リサイクル運動、環境美化運動等、多岐にわたる活動に取り組んでいる。</p> <p>以上のように、同会は多年にわたり、地域環境の美化推進に努め、地域住民の環境美化及び緑化思想の普及啓発に大いに貢献している。</p>

[団 体]

名 称	かぶしき がいしゃ ろく 株 式 会 社 で ん 六
所 在 地	山形県山形市
代 表 者	代表取締役社長 鈴木 傳四郎
功績の概要	<p>同社は、昭和28年の設立以来、緑のある環境づくりに取り組み、本社工場（山形市）及び蔵王の森工場（上山市）の敷地内に多くの花木を植栽し、社員はもとより地域住民にとっても心和む景観形成に努めてきている。</p> <p>特に、平成7年に新設した蔵王の森工場においては、建設段階から「自然との共生と調和」、「環境にやさしいリサイクル工場」をコンセプトに本社で企画・設計立案を行い、樹木7千本、花苗1万4千本の大規模な植栽と工場フェンスをなくすことにより観賞用園地としての形成を図り、市民の散策の場や活発な交流の場として利用され、地域社会における緑化推進にも大きく貢献している。</p> <p>また、その維持管理についても、社員全員が自主参加して工場（豆菓子類等の食品製造）から排出される処理殻等の廃棄物をリサイクル肥料として花壇管理等に利活用し、周辺の花き・野菜生産農家へも供給するなど環境保全に配慮している。</p> <p>同社では、今後も毎年30本の桜と200本の花木を増植して規模拡大に努め、引き続き全社挙げて緑と花のある環境づくりを推進することとしており、地域の緑化活動の中核的役割を果たしている。</p>

[団 体]

名 称	<small>しおじりしりつかたおかしょうがっこう</small> 塩尻市立片丘小学校みどりの少年団 <small>しょうねんだん</small>
所 在 地	長野県塩尻市
代 表 者	校 長 手塚 恒人
功績の概要	<p>同少年団は、自然とのふれあいを通して、緑を愛し育てる心を養い、人間性豊かな健康で明るい「ふるさとのある少年」、「思い出のある少年」に育てることを目的に、4～6年生を対象に昭和60年に結成された（現在140名）。</p> <p>平成5年度からは、校内に約500m<sup>2</sup>の雑木林を造るためにPTAの協力を得て植樹活動に取り組んでおり、平成7年度からは、団員自らの発案で校内の各所に花壇やプランターを設置し管理を行う等、学校緑化の推進に貢献している。</p> <p>また、市の植樹祭では、毎年、一般市民とともに植樹活動に取り組むとともに、同少年団の活動実績を発表し、また、児童会主催の「丘っ子祭り」では、同少年団員10数名で構成している「みどり委員会」が、団員が自ら育てた花苗を一般市民に無料配布する等、一般市民への緑化の普及啓発にも努めている。</p> <p>結成以来毎年、各学年ごとに特色のある活動を実施しており、野菜の栽培等に取り組むことにより、自然の恩恵への理解を深めている。</p>

[団 体]

名 称	しんもり ち く こうえん あい ご かい 新 森 地 区 公 園 愛 護 会
所 在 地	大阪府大阪市
代 表 者	代 表 金 崎 利 子
功績の概要	<p>同会は、新森中央公園の美化を目的に、大阪市内で初めての公園愛護会として昭和25年に結成されたもので、以来50年にわたり、活動範囲を地区内の他の公園に広げながらたゆまなく活動を続け、その後多くの愛護会が結成されている中、地域の模範的な公園愛護会として活発な活動を展開している。</p> <p>その活動は、清掃、除草、樹木の保護育成、施設の点検等の美化活動にとどまらず、市内の関係者・関連団体が一堂に集う「公園祭」を毎年開催するなど、公園愛護・緑化思想の普及啓発にも熱心に取り組んでいる。</p> <p>さらに、数々の催しを通して、公園における地域全体の憩いの場やコミュニティの拠点としての役割の充実を図っている。中でも、平成3年から年2回（春・秋）実施している「花菖蒲講習会」では、熱心な活動の結果、同会を中心に新たに「新森花しょうぶ会」が結成され、平成7年には独自で展示会を開催するまでになるなど、地域の緑化思想の高揚に大きく貢献している。</p>



[団 体]

名 称	すみ たちょうご ようしんりん あいご しょうねんだん 住 田 町 五 葉 森 林 愛 護 少 年 団
所 在 地	岩手県気仙郡住田町
代 表 者	校 長 菊池 定雄
功績の概要	<p>同少年団は、山村地帯にある小規模校の全校児童をもって昭和57年に結成された（現在10名）。</p> <p>継続・安定性、自主性、社会貢献性等の各面において極めて卓越した実績を有しており、区域内の少年団活動はもとより、県内の緑の少年団等に多大な影響を与えており、その功績は極めて大なるものがある。</p> <p>具体的には、「育林刈払い体験学習」を行い、民有林内のスギ造林地で下刈り作業を体験し森林愛護精神の育成に努めるほか、五葉山において標高差による植生変化の観察や「草花や木を大切にしよう」といったプレートの設置を行う等自然へ親しむ心を養成している。さらに、毎年全団員が、校内の作物園や花壇等において作物や草花の栽培作業を一貫して体験し、緑を育てる心も養成している。</p> <p>このように、同少年団は、その活動を通して「心の緑化」を団員に培い、人材の育成を通じて社会に大きく貢献している。</p>

[団 体]

名 称	すみよしちょう はな みどり かい 住 吉 町 花 と 緑 の 会
所 在 地	新潟県新発田市
代 表 者	会 長 布施 千代栄
功績の概要	<p>同会は、新発田市住吉町を拠点とし、町内の緑化と花の普及を図ることにより、環境美化と地域住民の融和を促進することを目的として、昭和62年4月に設立された緑化ボランティア団体である。</p> <p>活動は主に、町内の商店街を東西に走る県道沿いの歩道花壇に花苗を植栽し、育成管理を行っている。発足当初は、プランターを歩道脇にそって並べていたが、平成元年よりレンガ作りの花壇の整備を開始し、4ヶ年かけて順次整備し、平成4年に全区画が完成した。これにより町内のメインストリート沿いは毎年色とりどりに花が咲き誇り、花壇と杉並木が一体となった沿道は美しい都市景観を生み出すとともに、歩道を行き交う人々や道路を走る車のドライバーにひとときの安らぎを与えている。</p> <p>また、道路沿いの花壇づくり以外にも、地域の住民や町内の幼稚園、市の公共施設などに花苗や球根を提供し、町内はもとより市の中心部に至るまで積極的な花いっぱい運動を展開している。</p> <p>このような活動によって、緑化推進・道路愛護に対する意識の向上に大きく貢献している。</p>

[団 体]

名 称	<small>こう だ かぶ しき がいしゃ</small> ソニー幸田株式会社
所 在 地	愛知県額田郡幸田町
代 表 者	代表取締役社長 菅野 二二夫
功績の概要	<p>同社は昭和47年に設立され、ビデオカメラ等の製造を行っている。工場の建設に際しては、周辺の自然環境と調和し、地域住民や働く人々に緑豊かな環境を提供するとともに、地域社会と企業活動との融和のとれた「緑豊かな公園工場」を目指した。近年は、工場建設当時の緑地の量的拡大から、質的拡大、緑化活動への全員参加へと、緑化推進活動の力点が移っており、現在は「企業は地域社会に対し、いかに貢献できるか」を企業テーマに「地域開放型公園工場」の実現に取り組んでいる。</p> <p>工場敷地内の自然林を生かして整備した「ソニーの森」に展望台、遊歩道（1.5km）等を整備し、地域に開放しているほか、敷地内の体育館、グラウンドをスポーツ少年団等に開放しており、年間利用者は約3,300人にのぼる。また、工場見学（年間約1,500人）を積極的に受け入れるとともに、工場周辺町道の清掃や街路樹の維持管理等のボランティア活動にも工場全体で取り組んでいる。</p> <p>以上のように、同社の諸活動は地域に密着した緑化の推進や地域コミュニティの活性化に顕著なものがあり、その功績は高く評価されるものである。</p>

[団 体]

名 称	<small>だいきょうかぶしきがいしゃ だい わ こうじょう</small> 大 協 株 式 会 社 大 和 工 場
所 在 地	広島県賀茂郡大和町
代 表 者	代表取締役社長 石 田 彬
功績の概要	<p>同工場は昭和46年に操業を開始したプラスチック製品の製造工場である。工場の立地に際しては、自然と調和した公園工場づくりを通じて地球環境の保全に寄与するという理念のもと、アカマツ等の自然林を最大限活用できるよう建物のレイアウトを工夫するとともに、桜、ツツジ、ツゲ、芝生等の人工緑地をバランスよく配置し、工場敷地の70%以上を緑地が占める緑豊かで季節感溢れる空間を創出している。また、谷間からの湧き水を利用し、工場敷地内に池を造りハナショウブ、夏椿等を植栽するとともに、周辺に散策路や東屋を整備している。この庭園は地域住民へ憩いの場として開放され、好評を博している。</p> <p>地元小学校の工場見学、遠足等も積極的に受け入れ、先端技術の紹介とともに緑に親しむ機会を提供するほか、工場敷地内にケナフを植栽し、地元の社会福祉協議会へ紙すきの材料として提供している。また、工場周辺の清掃活動にも積極的に参加する等、地域社会への貢献度も高い。</p> <p>以上のように、同工場の諸活動は地域に密着した緑化の推進や地域コミュニティの活性化に顕著なものがあり、その功績は高く評価されるものである。</p>

[団 体]

名 称	<p>なかちょう あ ら た じ ち く 中 町 安 楽 田 自 治 区</p>
所 在 地	兵庫県多可郡中町
代 表 者	<p>区 長 横山 茂</p>
功績の概要	<p>当自治区は、兵庫県のほぼ中央に位置する多可郡中町の北部、安楽田地区を拠点に道路の沿道の美化・緑化活動に取り組んでいる団体である。</p> <p>当団体は、地域全体にわたる自治活動の一環として、道路の景観の美化を目的に、昭和45年より主要地方道西脇山崎線の法面800mに80個のフラワーポットを設置し、サツキツツジ、アジサイ、芙蓉、水仙等を植栽し、定期的に剪定を行うなど、維持管理活動が続けてきたところである。</p> <p>また、本路線の国道昇格後も積極的な活動が続け、平成4年にはプランター120基を新たに設置し、従来のフラワーポットと併せて活動延長を1,500mに拡大し、ベゴニア、サルビア、マリーゴールド、パンジーを植栽している。</p> <p>このような花の植栽活動により、沿道には年中花が絶えず、歩道を行き交う人々はもとより、道路を走る車のドライバーの心を和ませている。</p> <p>長年にわたる道路美化活動によって、周辺地域の緑化推進・道路愛護に対する意識の向上に大きく貢献している。</p>

[団 体]

名 称	はなぎ ちいき じち かい れんごうかい 華 城 地 域 自 治 会 連 合 会
所 在 地	山口県防府市
代 表 者	会 長 神岡 茂
功績の概要	<p>同会は、防府市華城地区の住民（町内会、PTA等106団体）で組織されている。同地区内の佐波川左岸の約2 kmにわたる堤防敷には低木が約2,200本植栽されており、沿川住民のみならず、防府市民の憩いの場となっている。</p> <p>同会は、地域奉仕活動の一環として、昭和55年よりこの堤防敷において低木の剪定、低木植栽箇所周辺の清掃、灌水等を年5～6回、作業1回当たり参加者200人程度により実施し、今日、県下有数の長さと芸術品の遊歩道と言われるまでに育て上げる等、佐波川環境改善に大きく貢献をしている。</p> <p>春には同会主催の「佐波川つつじまつり」を堤防敷で開催し、毎年400本のつつじ苗の配布を行い、地域住民の緑化推進の手助けを行っている。</p> <p>さらに、地域にある手づくり花壇への植栽及び管理を行い、道路・水路等の緑化を推進するなど、地域の美化及び緑の愛護の実践に大いに成果を上げており、住民からも喜ばれている。</p>

[団 体]

名 称	<p>み の う ち く は な                      か い 三 納 地 区 花 づ く り 会</p>
所 在 地	宮崎県西都市
代 表 者	杉本 実
功績の概要	<p>同会は、三納地区の746世帯(2,280人)を対象に、地区内における花いっぱい運動の拠点作りに積極的に取り組み、地区民の親睦と融和を図りながら、住みよい環境づくりを進めることを目的に平成4年4月に組織された。</p> <p>同会は、三納川・吐合橋上流の右岸側河川敷約4,500㎡において、四季に合わせ、菜の花、カンナ、サルビア、ポーチュラカ、コスモス、菊、ハボタンなどの草花の植栽、管理、除草等の作業を毎月1回、30人程で行うとともに、5月には住民からこいのぼりを集め、三納川に渡し架けるといった取り組みも行っている。この花畑は、吐合橋からの眺望がすばらしい場所にあり、通行人やドライバーに好評を得るとともに、夏休みや花盛りには、家族連れなどでにぎわうなど、河川環境の美化や潤いと安らぎのある地域づくりに貢献している。</p> <p>また、三納小学校の体験学習の場にもなっており、青少年の健全育成にも貢献している。</p>

[団 体]

名 称	<small>やまなか おんせん</small> 山 中 温 泉 <small>かい</small> ぼ た ん 会
所 在 地	石川県江沼郡山中町
代 表 者	会 長 吉本 加代子
功績の概要	<p>同会は、当初は山中温泉の旅館の女将たちの親睦会として、昭和27年に発足した。昭和62年に名勝「鶴仙溪」に桜を植えたことが契機となって緑化への取り組みが始まり、以降「花いっぱい山中町」を合い言葉に景観創出や環境美化の活動を積極的に行っている。</p> <p>特に、豊かな緑に囲まれた山中温泉の景観の価値を見直すとともに、温泉地としての魅力をより一層高めるため、平成6年以降、毎年3月の第2土曜日を「植樹祭」と定めて桜の苗木を植樹しており、これまでに1,500本以上が植えられた。また並行して、年間を通しての下草刈り等の管理や、既存樹木の保護や老木治療についての行政への提言などを行っている。</p> <p>さらに、同会が発起人となり「300年緑の会」を平成10年4月に発足させ、道路、病院、学校、寺社等における全町的な植樹による景観づくりの活動において中心的な役割を果たしている。こうした活動は地域住民にも広く受け入れられ、町を挙げての緑化思想の普及啓発に大きく貢献している。</p>



[団 体]

名 称	<small>わた むき せい さん しん りん くみ あい</small> 綿 向 生 産 森 林 組 合
所 在 地	滋賀県蒲生郡日野町
代 表 者	組合長理事 嶋村 悠紀雄
功績の概要	<p>同組合は、昭和39年3月、全国に先駆けて設立された生産森林組合である。所有する森林のほとんどは、琵琶湖に流れ出る日野川の源流である綿向山を主峰とする付近一帯の山林で占められ、近畿1,400万人の水源地である琵琶湖の水源地となっている。このため、古くから水源の涵養に重点を置きながら、積極的に林道等の林業基盤の整備と資本装備の近代化を図ってきた。所有する経営森林面積1,172haの内537haの人工林を整備し、今日では緑豊かな森林を形成するまでに至っており、その森林経営は全国的に他の組合の模範とされている。</p> <p>成熟期に入りつつある森林の除伐、間伐、枝打ち等保育管理を重点的に行うとともに、通直完満材の生産方法等の技術開発及びその普及に積極的に取り組んでいる。</p> <p>また、一般の人たちが入りやすい平地林等での林業体験学習や、森林を利用したスポーツ競技、観光事業へのバックアップ、森林空間を利用した憩いの場の提供、登山道の整備・補修等の活動を積極的に行い、森林・林業および緑化のPRに努めている。</p>

[学 校]

名 称	<small>しろとりちょうりつしろとり ちゅうがっこう</small> 白 鳥 町 立 白 鳥 中 学 校
所 在 地	香川県大川郡白鳥町
代 表 者	校 長 竹林 孝紀
功績の概要	<p>同校では、昭和47年の学校統合当初から、「環境づくりは人づくり」を合い言葉に、一貫して緑と花に包まれた学校を自分たちの手で築くため、生徒会・学校・P T Aが一体となって協力し、学校環境緑化活動を推進している。</p> <p>同校の特徴的な活動としては、平成2年に設立された白鳥町フラワーセンターと連携して季節に合った花の苗を育て、「白鳥町花いっぱい運動」に積極的に協力している。また、平成8年度に県教育委員会から「生きる力を培う教育推進事業」の研究指定を受け、緑化関係の活動を自然環境保護精神、勤労の精神、愛校精神、生命尊重の精神等を育成する体験活動として教育課程に位置付けて取り組み、その後も校内環境緑化運動を継続的に展開している。</p> <p>生徒が自ら作った緑豊かな環境を音楽集会や給食を楽しむ場として積極的に活用することにより、情操教育の面でも効果を上げており、環境緑化推進を生かした「開かれた学校」の一つとして、県内のモデル的な役割を果たしている。</p>

[学 校]

名 称	<small>ふるどのちょうりつおおぐたしょうがっこう</small> 古 殿 町 立 大 久 田 小 学 校
所 在 地	福島県石川郡古殿町
代 表 者	校 長 高羽 博樹
功績の概要	<p>同校は、県内有数の林業地帯にある全児童数39名の小規模学校である。</p> <p>昭和28年に設置した学校林は、その後の拡大により、現在は4か所で計4.5haの規模に至っており、「林業に関する教育の向上及び森林資源の培養」「長期間にわたる学校林経営の中で計画的かつ積極的な教育活動での活用」「ボランティア精神の高揚及び地域社会との積極的な交流」の3つを柱として整備が進められている。</p> <p>緑化の実践活動として、これまでの実績を継承しつつ新たな創意と工夫を重ねながら、児童、教職員、地域住民が一体となり、除伐や間伐等を積極的に行っている。平成10年には、針葉樹林の増加に伴い減少したカブトムシやオオムラサキ等の昆虫を観察するため、新たな学校林をつくり、地元の協力を得ながらササ等の刈払い、ナラやエノキ等の植栽を行った。</p> <p>また、同校は水源地域にあることから、平成7年から環境教育の一環として「せせらぎスクール」を開催し、その成果を取りまとめた「せせらぎ新聞」の発行や学習発表会での報告などの活動を行っている。</p>

[学 校]

名 称	<p>ますだ ちょうりつ ます だ ちゅうがっこう 増 田 町 立 増 田 中 学 校</p>
所 在 地	秋田県平鹿郡増田町
代 表 者	<p>校 長 戸 田 頼 章</p>
功績の概要	<p>昭和48年に学校が創設された当時から環境緑化に取り組み、地域の自然や人々との触れ合い活動を通して、環境の維持・保全に主体的に関わるとともに、ふるさとに対する自信や誇りを持ち、地域社会に貢献できるたくましい生徒の育成を目指している。</p> <p>平成2年度からは後期緑化計画をスタートさせ、校舎の外観と調和した緑化を進めるとともに、生徒に腐葉土を作らせるなど、土づくりから花づくりに取り組ませている。こうした活動により、平成8年度からは、秋田県花いっぱい運動の会から秋田県のモデル花壇に指定されている。</p> <p>樹木やリンゴ並木、花の育成管理が生徒の日常活動を通して行われ、毎年、樹木の緑と花壇の花が調和する素晴らしい環境を作っており、地域の人々も見学に訪れている。また、リンゴ並木で収穫したリンゴを町内の老人ホームや学校間交流を続けている東京都三宅村の中学校に送る等の活動も続けている。</p> <p>生徒が活動の中心となり、教職員やPTA、地域の人々も協力して環境緑化に取り組む体制が整っており、今後も調和のとれた環境づくりが期待できる。</p>

[地方公共団体]

名 称	<p>おお やま だ むら 大 山 田 村</p>
所 在 地	<p>三重県阿山郡大山田村</p>
代 表 者	<p>村 長 福岡 達雄</p>
功績の概要	<p>同村は、「小鳥がさえずる森づくり整備事業」により、野鳥を始めとする豊かな自然の紹介や自然保護思想の普及啓発を図ることを目的に、平成2年に「真泥池野鳥の森」を開設した。</p> <p>「真泥池野鳥の森」は、灌漑用池である真泥池を中心に、周囲をヒノキ林と広葉樹林の混植林森林に囲まれた環境にあり、開設に先立ち平成元年には観察小屋や観察路の整備、巣箱の設置、野鳥の餌となるクヌギ、ウメモドキなどの実のなる木6種類50本の植栽を行い、さらに地元野鳥保護団体等の協力によりシラカシやナラなど80本の植栽やアラカシ、クヌギの種まきを行うなど、村民を上げて良好な森の環境づくりを実施した。</p> <p>その後も同村は、野鳥の森の管理や見回り等を行うほか、地域住民の協力を得ながら、年2回の真泥池周回道路の草刈り、空き缶拾い等の環境美化活動を行うなど、野鳥の森を守る活動を村民と一体となって取り組んでいる。</p> <p>多年にわたる活動により、野鳥の森ではヒヨドリ、ホオジロ、シジュウカラなどのほか、冬季にはマガモ、カルガモ、ハシビロガモなどのカモ類も年々数多く見られるようになり、バードウォッチングの名所として、自然保護及び緑化思想の普及啓発の場となっている。</p>

[地方公共団体]

名 称	か の ちょう 鹿 野 町
所 在 地	山口県都濃郡鹿野町
代 表 者	町 長 岡林 久熊
功績の概要	<p>同町は、錦川の源流部に位置し、総面積18,146haのうち森林が90%を占め、その森林面積の35%が水源かん養保安林であり、周南・岩国地区の水瓶として重要な水源地域となっている。</p> <p>平成9年度から川上の林業関係者と川下の都市住民や企業関係者等による「まちと森と水の交流会」を開催し、町有林を活動の場として「水源の森」としての整備や希少なブナ林の保全など、水源かん養機能を高める多様な森林の育成に努めている。</p> <p>また、「鹿野町緑の少年隊」の育成に努めるとともに、緑化推進のためのポスター作成に当たり原画コンクールへの参加を呼びかけるなど、緑化を通じた人材育成にも積極的に取り組んでいる。</p> <p>さらに、平成7年からは、鹿野町金峰山における「防長の吉野をつくる会」の桜の植樹の町内ボランティア活動も支援している。</p> <p>このような緑化推進の基礎は、昭和40年・43年の山口県植樹祭、昭和55年の町制40周年・平成2年の町制50周年記念造林の実施等、水源地域としての役割を十分認識し、町民挙げて緑化活動に取り組んできたことにあり、今後も健全で活力ある水源林造成や緑化の普及啓発活動を積極的に展開することとしている。</p>

[地方公共団体]

名 称	かわぐちこまち 河 口 湖 町
所 在 地	山梨県南都留郡河口湖町
代 表 者	町 長 小佐野 常夫
功績の概要	<p>同町は、富士山と湖の素晴らしい景観と温泉があるところから、年間700万人が訪れる観光地、避暑地として発展している。</p> <p>同町では、30年前から「湖畔を花で飾ろう」と地域住民のボランティアによる花づくりに取り組んできたが、来訪者の増大に伴い、環境美化とみどりの景観維持の気運が高まり、国際観光地へのイメージアップを図るため、全町的な花のまちづくりを展開している。</p> <p>地元花き生産農家との連携でシバザクラやアジサイ等多種類の花苗供給体制の充実を図るとともに、植栽箇所の拡大増加に向け、町民や観光協会等が一体となって行う道路沿い等の花壇づくりの奨励に努めている。</p> <p>また、環境課を創設し、景観条例の制定、リサイクル事業の実施、環境緑化推進5カ年計画の樹立により、花づくりを通じた環境・景観の美化保持を図るとともに、さらに発展してホテルの里づくりにも取り組んでいる。</p> <p>平成8年には「まちなみ景観補助事業」も実施し、個人・団体が有機物投入による土づくりと花の植栽や花飾りなどに経費負担を行い、町全体の豊かな緑と花に囲まれた景観形成の推進に大きな成果を挙げている。</p>

[地方公共団体]

名 称	くに がみ そん 国 頭 村
所 在 地	沖縄県国頭郡国頭村
代 表 者	村 長 上原 康作
功績の概要	<p>同村は、沖縄本島の最北端に位置し、総面積19,480haのうち森林が83%を占めており、昭和61年度までに安波ダム、普久川ダム及び辺野喜ダムの3ダムが完成し、本島34市町村のうち30市町村に水道及び工業用水を供給する重要な水源地域となっている。</p> <p>これらのダム建設に積極的に協力するとともに、水源かん養のための造林事業等を推進し、特に辺野喜ダム上流の大川の森を「水源の森」として整備するなど、1,281haの水源かん養保安林の保全と育成に努めている。</p> <p>また、昭和62年度にオープンした国頭村森林公園では、県民参加によるツバキやサザンカ等2万本の植樹に取り組むなど緑化意識の向上に努めている。</p> <p>さらに、「フラワーロード計画」による道路沿いの美化・緑化活動や、ノグチゲラ、ヤンバルクイナ等の貴重な野生生物が生息する豊かな自然の保護活動などを、村内外の約200名のボランティア参加により実施している。</p> <p>このほか、若手林業従事者等からなる「林業研究グループ」の活動を奨励し、村が設立した人材育成基金を活用して、緑化推進を担う若い技術者の養成や緑化技術の向上に積極的に取り組んでいる。</p>



[地方公共団体]

名 称	こ が し 古 河 市
所 在 地	茨城県古河市
代 表 者	市 長 小久保 忠男
功績の概要	<p>同市では、「まちを桜とハーブの香りでつつみたい」との目標を掲げ、花と緑のまちおこしに取り組んでいる。</p> <p>市内には、ＪＲ古河駅近くの「四季の径」沿い等に桜の木が約６００本もあり、多くの市民に憩いを与えている。平成１１年には、財団法人日本さくらの会が実施している宝くじ桜配布事業を活用し、新たに市総合公園、小中学校、公園等の公共施設及び遊休地にソメイヨシノやヒガンザクラ等、４００本の桜の若木の植樹を行っている。</p> <p>また、「ハーブ愛好会」が結成され、現在、市職員と市民ボランティアが中心となり、民間の土地を借りて約１００種類のハーブを栽培している。今年は、市制５０周年に当たることから市民に５，０００本の苗木を無料配布し、ハーブの香りが漂うまちづくりをさらに進めていくこととしている。</p> <p>これに加え、市民と一体となって、「日本一きれいなまちづくり事業」として、花いっぱい運動、緑化推進事業、環境美化事業等を積極的に推進しており、潤いのあるきれいなまちに生まれ変わっている。</p>

[地方公共団体]

名 称	な か がわ ちょう 那 賀 川 町
所 在 地	徳島県那賀郡那賀川町
代 表 者	町 長 臣永 正廣
功績の概要	<p>同町では、昭和61年以来、「花いっぱい運動」を展開し、平成5年に国道が開通してからは、花いっぱいグループが婦人会、老人クラブ等と共同で、雑草の除去や手づくりの苗や球根を道路沿いの花壇に植えるなど、ボランティアでの活動が活性化している。この取組は、広く町民の参加を呼び、毎回総勢500人程度による運動に拡大している。</p> <p>これらの活動により、道路沿いは常に美しい緑と可憐な花々に彩られ、地域住民の生活環境に対する意識はもとより、ドライバー等の交通安全及び道路愛護思想の高揚に大きく貢献している。</p> <p>この運動に加え、山地がなく、森林面積が少ない町内に樹木を増やそうと、平成10年より「ふるさと鎮守の森」構想を推進している。これは、緑を取り戻し動植物と共生できる空間を再生するため、広く町内外より成木、若木、苗木を募集し、町内に約1万本の植樹を行っているもので、ボランティアによる木の保存、管理をも実施している。自然や生命の大切さを次世代に伝えようとする構想により、緑化思想も深く町民に根付いてきている。</p>